

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

小学校中学年という人間関係の大きな発達段階にある子供たちが、自然の中で共に宿泊体験や自然体験活動をすることを通して、コミュニケーション力を高め、協力してよりよい集団生活を築こうとする態度や、自ら困難なことにもチャレンジし、自分自身を認めようとする心情を育む。

2. 事業の概要

（1）期日

令和元年8月18日（日）～8月24日（土）6泊7日

（2）参加者

① 募集対象・人数

小学校3・4年生 24人（応募総数61人）

② 参加人数

24人（うち大阪府1人、兵庫県1人）

（3）講師等

看護師 1人

ボランティア 11人

（4）企画・運営のポイント

- ① 今年度から「桃太郎チャレンジキャンプ部会」を設け、外部委員の方々からアドバイスをいただきながら企画・実施した。
- ② 一貫性を重視した内容で6泊7日の移動キャンプを実施するために、参加者及びボランティアについては、全日程参加を条件に募集を行った。また、参加申込書に志望動機を書かせ、各々目標をもってキャンプに臨むことができるようにした。
- ③ 事業実施1か月前に、ボランティア対象の事前研修を1泊2日の日程で実施した。研修内容は、実地踏査とリスクマネジメント、子供との関わり方について考えることを中心に構成し、実際の活動を想定して行った。本番では、子供の状況や、関わりに対して共通理解を図るために、毎晩振り返りの時間を設けた。
- ④ 子供たちの自立を目指す視点から、「自分のことは自分です」「何事にもチャレンジする」「みんなのことを考えて行動する」ことを目標として掲げた。また、班旗をビーイングとして活用し、毎日の振り返りを行った。
- ⑤ ロングウォークのリスク管理を行うため、看護師協会と連携して看護師1人の派遣を依頼し、所外に出る日程の3日間に対応していただいた。また、熱中症対策のために麦わら帽子とクールスカーフを全員に支給して使用した。
- ⑥ フェイスブックに活動の様子を掲載する際に、職員の負担を考慮して、翌日の午前に掲載して情報発信するとともに、開会式で印刷したものを配付し、我が子のがんばりを確認できるようにした。

- ⑦ 共にロングウォークや長期キャンプを乗り切った仲間との最終日前夜のキャンドルのつどいでは、1週間過ごしたボランティアが企画してレクリエーションを実施した。
- ⑧ 閉会式では、子供たちが保護者へ向けて「1週間の成長を発表しよう」という思いで行った。そして、保護者と子供たちがキャンプの内容を共有することができるようにスライドショーの上映を行った。
- ⑨ 3年目を迎え、仕上げの年度として、子供たちの状況を考え、活動を精査した。また、事業を実施する上で、職員の負担を軽減するために、ボランティアとの連絡体制を構成するなどし、事業全体のスムーズな運営を心掛けた。

3. 活動の内容等

(1) 日程

8/18 (日)		受付	開 会 式	オリエンテーション	昼食 (レストラン)	仲間作りゲーム スコアオリエンテーリング	野外調理	振り 返 り	シャ ワ ー	就寝
8/19 (月)	起床 清掃 朝のつどい	野外 調理	課題解決オリエンテーリング 昼食(弁当)			テント張練習	野外調理	シャワー	振り 返 り	就寝
8/20 (火)	起床 清掃 朝のつどい	野外 調理	片付け バス 移動	ロングウォーク①吉備津神社～吉備津彦神社～ ノートルダム清心女子大学一宮校舎 昼食(弁当)		調理	入浴	振り 返 り	就寝	
8/21 (水)	起床 清掃 調理 準備	バス 移動	ロングウォーク②吉備津神社～砂川公園 昼食(弁当)			野外調理	シャワー	振り 返 り	就寝	
8/22 (木)	起床 清掃 準備	野外 調理	ロングウォーク③砂川公園～鬼ノ城 昼食(弁当)			バス移動 休憩	入浴	振り 返 り	就寝	
8/23 (金)	起床 清掃 準備	野外 調理	片付け	桃太郎お楽しみ企画 (バウムクーヘン作り)		振り返り 休けい	夕食 (レストラン)	キャンドルの つどい	入浴	就寝
8/24 (土)	起床 清掃 朝のつどい	朝食 (レストラン)	振り返り		閉 会 式					

(2) 活動の状況



【仲間づくりゲーム】



【テント張練習】



【課題解決オリエンテーリング】



【野外調理】



【ロングウォーク①吉備津神社】



【ロングウォーク②砂川公園に向かって】



【ロングウォーク③鬼ノ城】



【バウムクーヘン作り】



【キャンドルのつどい】



【閉会式】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：80%

やや満足：20%

(2) 参加者の声

- ① 笑顔が当たり前ようになった。
- ② 人の気持ちを考えて行動することで、友達との仲が深まった。
- ③ 今までより真剣に人の話を聞けるようになり、時間を意識して行動できるようになった。
- ④ 手助けや呼びかけなど、思いやりをもった行動ができるようになった。
- ⑤ 役割分担をしておいしいご飯を作れた。

(3) 成果

- ① 日々の活動を重ねる中で、人の話を聞く姿勢や、お互いの意見を聞き入れる態度を身に付けていく様子が見られた。
- ② 始めは段取りがわからずに、指示を出したことしかできなかったが、自分から進んで行動ができるようになっていった。
- ③ ロングウォークの3日間については、看護師をスタッフに加え、子供たちの状況を相談しながら安心して実施することができた。
- ④ 桃太郎伝説を子供たちへ伝えるために、紙芝居やペープサートを使用し、ボランティアから読み聞かせを行った。また、全行程のイメージを持たせるために、地図を見ながら説明を行った。これにより、話の内容と関連付け、先を見通しながら歩くことができた。

(4) 今後の課題

- ① 小学校3年生・4年生を対象とした場合、様々な活動で予想以上に時間がかかることを考慮し、余裕をもたせた指導が必要である。特に所外へ出た時には、これまでの環境と異なるため、時間がかかることを考慮する。
- ② 今年で3年目の区切りを迎えたので、報告書を作成して、全国へ発信・普及に努める。

担当：企画指導専門職付 貞方 貴衣